



平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月12日

上場会社名 株式会社 リンガーハット
 コード番号 8200 URL <http://www.ringerhut.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋本 英樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 小田 昌広
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福
 TEL 03-5745-8611

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年2月期第1四半期 | 11,298 | 9.3 | 750 | 20.3 | 723 | 24.1 | 282 | 19.6 |
| 29年2月期第1四半期 | 10,339 | 4.2 | 623 | 2.2 | 583 | 0.4 | 236 | 23.5 |

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 218百万円 (24.7%) 29年2月期第1四半期 174百万円 (52.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年2月期第1四半期 | 11.37 | |
| 29年2月期第1四半期 | 11.07 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年2月期第1四半期 | 32,077 | 18,920 | 59.0 | 761.19 |
| 29年2月期 | 33,192 | 19,005 | 57.3 | 764.63 |

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 18,920百万円 29年2月期 19,005百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年2月期 | | 9.00 | | 11.00 | 20.00 |
| 30年2月期 | | | | | |
| 30年2月期(予想) | | 9.00 | | 11.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 22,000 | 3.0 | 1,380 | 1.7 | 1,310 | 2.1 | 700 | 21.7 | 28.16 |
| 通期 | 45,000 | 2.6 | 3,370 | 2.6 | 3,250 | 2.9 | 1,680 | 3.7 | 67.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年2月期1Q | 26,067,972 株 | 29年2月期 | 26,067,972 株 |
| 期末自己株式数 | 30年2月期1Q | 1,212,015 株 | 29年2月期 | 1,212,599 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年2月期1Q | 24,855,636 株 | 29年2月期1Q | 21,366,101 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1)本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付書類】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2)本資料のサマリー情報、【添付書類】2ページ「経営成績に関する説明」及び9ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 3. 補足情報 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、穏やかな景気回復が続いているものの、国内の生活物価の上昇や国外における政治・経済の不透明感の増大などにより、引き続き不安定な状況にあります。

外食産業におきましても、他業種との顧客獲得競争の激化、原材料価格の上昇、人手不足を背景とする労働コストの上昇などにより、取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループは野菜の国産化をはじめとした「食の安全・安心・健康」に取り組み続け、『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、強固な企業体質づくりとともに、企業価値向上に努めてまいりました。

国内の出退店につきましては、13店舗を出店し7店舗を退店いたしました。また、海外におきましては、1店舗を出店し1店舗を退店いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は前連結会計年度末より6店舗増加し、国内749店舗、海外12店舗の計761店舗(内直営店舗546店舗、フランチャイズ店舗215店舗)となりました。

既存店の売上高につきましては、当社グループ全店舗の当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は104.3%となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は112億98百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は7億50百万円(同20.3%増)、経常利益は7億23百万円(同24.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億82百万円(同19.6%増)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、平成29年4月より150gの牛肉を使用した新メニュー「牛・がつつりまぜめん」を販売、同年5月にはより美味しく改良した「赤」「白」2種の冷やしちゃんぽんを期間限定で販売開始し、多くのお客さまにご好評をいただいております。

また、女性アイドルグループ「私立恵比寿中学」を2017年イメージキャラクターとして迎え、バジブルな商品の魅力を明るく楽しく表現したTVCMを放映いたしました。

さらに、調理・サービスの質の向上を図るため、調理認定制度とサービス認定制度の展開を強化し、お客さま満足度向上に取り組んでまいりました。

出退店につきましては、国内ではショッピングセンターを中心に13店舗を出店し6店舗を退店、海外では1店舗(台湾台北市)を出店し1店舗(タイ国シラチャ郡)を退店した結果、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で641店舗、海外で10店舗の計651店舗(うちフランチャイズ店舗197店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は104.9%となり、売上高は86億60百万円(前年同期比11.8%増)、営業利益は6億20百万円(同30.6%増)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ濱かつ」では、とんかつの美味しさと安全・安心な食材へのこだわり、「ひとりひとりのお客さまに楽しい食事のひとときを」心ゆくまで味わっていただきたいという、おもてなしの心をお客さまに伝える施策に取り組んでまいりました。

平成29年5月には「さっぱりとしたとんかつ」をコンセプトとして、紀州産の梅肉を使用した「梅しそ巻とヒレ膳」「梅しそチキンとあじふらい膳」、国産の本わさびを使用した「わさびおろしロースかつ膳」の期間限定販売を開始いたしました。

また、生産性向上と従業員の働きやすさ向上のため、一部店舗において業務の機械化を推進し、おかわりコーナーを設置いたしました。

さらに、テイクアウト商品のお渡し後、約30分は温かくお召し上がりいただける弁当容器を開発し、お客様のニーズに応えてまいりました。

出退店につきましては、1店舗を退店した結果、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は国内で108店舗(卓袱浜勝を含む)、海外で2店舗の計110店舗(うちフランチャイズ店舗18店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は103.1%となり、売上高は25億88百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は73百万円(同28.8%減)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第1四半期連結累計期間の売上高は5億54百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益66百万円(同25.5%増)となりました。

なお、当社は体操の内村航平選手と平成29年3月から平成33年12月まで約5年間の所属契約を締結いたしました。

当社は長崎で創業した企業として、創業以来「地域社会の発展に貢献する」ことを経営理念として掲げ、地域社会の発展に向けた取り組みのひとつとして、スポーツ・文化等の振興支援活動を行ってまいりました。

当社創業の地・長崎県出身の内村航平選手が日本初のプロ体操選手として、子どもたちに体操の楽しさ、素晴らしさを伝え、体操の普及を目指す姿に共感すると同時に、「これからも日本の体操が1番と証明し続けていきたい」という思いに賛同し、契約に至りました。

当社は、内村航平選手を応援するとともに、今後もスポーツを通じた地域振興・貢献活動を展開してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億15百万円減少し320億77百万円となりました。これは主に積極的な設備投資と短期借入金の返済に伴う現金及び預金の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ10億30百万円減少し131億57百万円となりました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ85百万円減少し189億20百万円となりました。これは主に親会社に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月14日に発表した前回予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,906,956 | 6,932,238 |
| 売掛金 | 708,690 | 845,155 |
| 商品及び製品 | 97,644 | 118,779 |
| 仕掛品 | 21,333 | 47,757 |
| 原材料及び貯蔵品 | 229,574 | 284,477 |
| 前払費用 | 306,429 | 469,726 |
| 繰延税金資産 | 197,351 | 197,235 |
| 未収入金 | 651,373 | 822,379 |
| その他 | 188,082 | 205,588 |
| 流動資産合計 | 11,307,438 | 9,923,338 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 9,211,427 | 9,547,252 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 779,671 | 781,851 |
| 土地 | 4,820,693 | 4,823,093 |
| リース資産(純額) | 188,588 | 168,239 |
| 建設仮勘定 | 76,420 | 57,839 |
| その他(純額) | 766,674 | 816,003 |
| 有形固定資産合計 | 15,843,475 | 16,194,278 |
| 無形固定資産 | 387,997 | 374,308 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 877,071 | 808,804 |
| 退職給付に係る資産 | 78,305 | 78,615 |
| 差入保証金 | 1,090,097 | 1,097,334 |
| 建設協力金 | 123,215 | 116,281 |
| 敷金 | 2,526,549 | 2,528,833 |
| 繰延税金資産 | 690,995 | 695,598 |
| その他 | 290,230 | 282,758 |
| 貸倒引当金 | △22,605 | △22,605 |
| 投資その他の資産合計 | 5,653,859 | 5,585,619 |
| 固定資産合計 | 21,885,332 | 22,154,206 |
| 資産合計 | 33,192,770 | 32,077,545 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 864,983 | 1,094,273 |
| 1年内償還予定の社債 | 236,000 | 216,000 |
| 短期借入金 | 2,100,000 | 840,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,197,775 | 1,123,230 |
| リース債務 | 126,931 | 124,523 |
| 未払金 | 685,172 | 736,790 |
| 未払費用 | 968,985 | 1,362,314 |
| 未払法人税等 | 620,325 | 419,997 |
| 未払消費税等 | 277,421 | 314,131 |
| 株主優待引当金 | 82,780 | 69,044 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 15,667 | 10,939 |
| 販売促進引当金 | 4,529 | — |
| 資産除去債務 | 49,813 | 38,814 |
| その他 | 389,895 | 543,547 |
| 流動負債合計 | 7,620,281 | 6,893,607 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 996,000 | 888,000 |
| 長期借入金 | 2,116,105 | 1,889,141 |
| 長期未払金 | 428,041 | 444,005 |
| リース債務 | 296,879 | 266,753 |
| 株式給付引当金 | 98,007 | 98,071 |
| 退職給付に係る負債 | 973,618 | 995,881 |
| 長期預り保証金 | 387,617 | 386,617 |
| 資産除去債務 | 1,172,958 | 1,206,279 |
| その他 | 97,859 | 88,945 |
| 固定負債合計 | 6,567,086 | 6,263,694 |
| 負債合計 | 14,187,368 | 13,157,302 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,002,762 | 9,002,762 |
| 資本剰余金 | 8,423,582 | 8,423,582 |
| 利益剰余金 | 4,079,005 | 4,057,698 |
| 自己株式 | △2,810,407 | △2,809,494 |
| 株主資本合計 | 18,694,943 | 18,674,549 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 207,093 | 167,300 |
| 為替換算調整勘定 | 73,130 | 53,856 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 30,234 | 24,536 |
| その他の包括利益累計額合計 | 310,458 | 245,693 |
| 純資産合計 | 19,005,402 | 18,920,242 |
| 負債純資産合計 | 33,192,770 | 32,077,545 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 10,041,823 | 10,952,628 |
| 売上原価 | 3,234,501 | 3,590,238 |
| 売上総利益 | 6,807,321 | 7,362,390 |
| その他の営業収入 | 298,122 | 346,219 |
| 営業総利益 | 7,105,444 | 7,708,610 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,481,581 | 6,958,239 |
| 営業利益 | 623,862 | 750,370 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 838 | 991 |
| 受取配当金 | 98 | 131 |
| 為替差益 | — | 936 |
| 未回収利用券受入益 | 5,227 | — |
| その他 | 11,490 | 6,082 |
| 営業外収益合計 | 17,654 | 8,141 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,771 | 10,522 |
| 為替差損 | 11,583 | — |
| リース解約損 | 14,108 | 1,185 |
| 持分法による投資損失 | 1,681 | 10,215 |
| その他 | 11,154 | 12,685 |
| 営業外費用合計 | 58,300 | 34,609 |
| 経常利益 | 583,217 | 723,902 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 9,999 |
| 店舗閉鎖損失引当金戻入額 | — | 1,500 |
| 補助金収入 | 6,373 | — |
| 受取補償金 | — | 30,000 |
| その他 | — | 180 |
| 特別利益合計 | 6,373 | 41,680 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 31,586 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | 19,372 | — |
| 減損損失 | 33,182 | 32,831 |
| 投資有価証券評価損 | — | 19,549 |
| その他 | 9,368 | — |
| 特別損失合計 | 61,923 | 83,966 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 527,667 | 681,617 |
| 法人税等 | 291,245 | 398,794 |
| 四半期純利益 | 236,421 | 282,822 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 236,421 | 282,822 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 236,421 | 282,822 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △37,377 | △39,793 |
| 為替換算調整勘定 | △14,436 | △15,132 |
| 退職給付に係る調整額 | △6,099 | △5,697 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △3,655 | △4,141 |
| その他の包括利益合計 | △61,569 | △64,765 |
| 四半期包括利益 | 174,851 | 218,057 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 174,851 | 218,057 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-----------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 長崎 ちゃんぽん | とんかつ | 設備 メンテナンス | 合計 | | |
| 売上高 (注) 3 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,748,056 | 2,513,850 | 78,039 | 10,339,946 | — | 10,339,946 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | 414,152 | 414,152 | △414,152 | — |
| 計 | 7,748,056 | 2,513,850 | 492,192 | 10,754,098 | △414,152 | 10,339,946 |
| セグメント利益 | 475,406 | 102,750 | 52,937 | 631,094 | △7,231 | 623,862 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△7,231千円には、セグメント間取引消去7,987千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,219千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中に退店が決定した店舗等に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は33,182千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-----------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 長崎 ちゃんぽん | とんかつ | 設備 メンテナンス | 合計 | | |
| 売上高 (注) 3 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,660,561 | 2,588,431 | 49,855 | 11,298,848 | — | 11,298,848 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | 504,508 | 504,508 | △504,508 | — |
| 計 | 8,660,561 | 2,588,431 | 554,364 | 11,803,357 | △504,508 | 11,298,848 |
| セグメント利益 | 620,775 | 73,148 | 66,437 | 760,361 | △9,990 | 750,370 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△9,990千円には、セグメント間取引消去7,469千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△17,460千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中に退店が決定した店舗等に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は11,717千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中に退店が決定した店舗等に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は21,113千円であります。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

| 期別 | 項目 | 長崎ちゃんぼん事業 | | | とんかつ事業 | | | 外販事業 | その他 | 合計 |
|-------------------------------------|--------------|-----------|----------|--------|--------|----------|--------|--------|-------|--------|
| | | 直営店 | フランチャイズ店 | 合計 | 直営店 | フランチャイズ店 | 合計 | | | |
| 平成30年 2月期 第1四半期 連結累計 期間 | 売上高 (百万円) | 7,348 | 2,751 | 10,099 | 2,389 | 446 | 2,836 | 215 | 115 | 13,265 |
| | 店舗数 (店) | 454 | 197 | 651 | 92 | 18 | 110 | — | — | 761 |
| 平成29年 2月期 第1四半期 連結累計 期間 | 売上高 (百万円) | 6,565 | 2,590 | 9,155 | 2,347 | 432 | 2,779 | 148 | 164 | 12,247 |
| | 店舗数 (店) | 430 | 191 | 621 | 94 | 18 | 112 | — | — | 733 |
| 対前年比率 | 売上高 | 111.9% | 106.2% | 110.3% | 101.8% | 103.5% | 102.1% | 145.4% | 70.2% | 108.3% |
| | 店舗数 | 105.6% | 103.1% | 104.8% | 97.9% | 100.0% | 98.2% | — | — | 103.8% |

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として揭示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。